

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

対象施設：障害者支援施設リバティ神戸

開催日：2026年3月25日

参加者：ご利用者、ご家族、地域関係者

施設職員（管理者・サービス管理責任者）

開会・趣旨説明

施設職員

本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本日は「令和7年度 リバティ神戸 地域連携推進会議」として開催しています。本会議の概要については、情報公開の観点から、後日ホームページに掲載する予定としており、議事録作成のため録音を行っています。録音データは一定期間後に削除されます。

本日は資料を2点用意しています。これらを用いながら、会議の趣旨や施設の取り組みについて説明します。

まず、参加者についてです。地域代表、ご利用者代表、家族代表、施設側から施設職員が参加しています。

本会議は、障害者支援施設および共同生活援助（入所施設・グループホーム）を対象に、令和7年度から開催が義務化されたものです。外部の目が入りにくい、生活や支援の様子が見えにくいという課題を踏まえ、地域やご家族に施設の実情を知っていただくことを目的としています。

地域連携推進会議の概要

施設職員

地域連携推進会議は、施設がご利用者、ご家族、地域関係者と定期的に会議や相互訪問を行い、情報共有や意見交換を行う場です。施設の取り組みや支援内容、ご利用者の権利が守られているか、生活の質が確保されているかを、第三者の視点で確認していただくことを目的としています。

会議の主な内容は、以下のとおりです。

- リバティ神戸の取り組みや支援内容の説明（情報共有）
- 良い点、改善が望まれる点についての意見交換
- 地域やご家族との関係づくり

施設見学のポイント説明

施設職員

本日はこの後、施設見学を行います。施設環境が清潔で安全に保たれているか、ご利用者の様子や職員の関わり方が尊重的であるかといった点を確認していただきます。また、意見交換の場では、ご利用者代表から、過ごしやすさや生活の満足度、日常生活で感じていることなどについて意見を伺う予定としています。

施設見学（実施内容）

施設見学では、リバティ神戸の館内（1階から3階）を回り、以下の場所を見学しました。

- 各階の職員詰め所
- 医務室
- ご利用者の居室
- 浴室（お風呂場）
- 食堂
- 洗濯場

見学中は、ご利用者および職員の様子を実際に見ていただき、日常の生活環境や支援の状況、職員の関わり方などを確認していただきました。

法人・施設の説明

施設職員

続いて、社会福祉法人社友会の理念について説明しました。法人の理念は、「障害の有無にかかわらず、誰もが大切な人と人生を楽しみ、互いに尊重される社会をつくる」ことです。

職員が大切にしている点として、以下の内容を共有しました。

1. 利用者のより良い生活のために努力すること
2. 利用者の尊厳を守ること

3. 利用者が人生を楽しむことを応援すること
4. 職員自身が成長すること
5. 社会福祉の発展に貢献すること

支援体制・職員配置の説明

施設職員

リバティ神戸には重度の障害のある方が多く、職員配置は1.5対1を基本としています。これは、国の最低基準である3対1よりも手厚い配置です。介護福祉士などの有資格者に加え、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が配置されています。

夜間も複数名体制を取り、オンコールによる医療相談体制を整えています。また、見守りセンサーやICT記録システム、インカム等を活用し、安全性と情報共有の向上を図っています。

ご利用者の生活と支援の実際

施設職員

ご利用者の1日の生活は、起床、食事、清掃、入浴、喫茶、就寝といった生活リズムを大切にしながら、体調や状況に応じて柔軟に対応しています。管理を目的とするのではなく、生活の場としての施設運営を重視しています。

尊厳を守るため、原則として同性介助を行い、例外的な対応は最小限にしています。

意見交換（施設環境・支援について）

地域代表

施設内は非常に清掃が行き届いており、全体的にきれいな印象を受けました。

家族代表

普段見ることができない浴室などを確認でき、入浴環境が整っていると感じました。

ご利用者代表

職員の声かけについて、もう少し配慮してほしいと感じることがあるとの意見がありました。

施設職員

意見を受け止め、職員の関わり方について改めて共有・改善を図っていくことを伝えました。

ご利用者の様子・生活満足度

地域代表

見学を通して、ご利用者が落ち着いて過ごしている様子が見られました。

施設職員

職員数やご利用者の重度化の影響により、余暇支援が十分に行き届いていない課題はあるものの、可能な範囲で行事や外出の機会を継続していきたいと説明しました。

ご利用者代表

居室は過ごしやすいが、以前より職員が様子を見に来る回数が減ったと感じているとの意見がありました。

施設職員

支援の頻度について、改めて検討する旨を伝えました。

職員体制・働きやすさについて

家族代表

以前に比べ、職員が忙しそうに見えるとの意見がありました。

施設職員

記録業務や制度上の義務が増え、職員の負担が増している現状を説明しつつ、働きやすい環境づくりを引き続き進めていくことを伝えました。

家族・地域との関わりについて

家族代表

家族会のような定期的な集まりは負担に感じる家族も多く、個別対応が現実的であるとの意見がありました。

施設職員

現在は個別連絡や行事時の対話を中心に対応しており、今後も無理のない形で地域や家族と関われる方法を模索していくと説明しました。

まとめ・閉会

施設職員

本日は貴重なご意見をありがとうございました。本日の内容は議事録として整理し、確認後、概要をホームページで公開する予定です。今後も地域やご家族の声を施設運営に活かしていきます。

以上